

「全身麻酔管理中の人工呼吸器設定に関する観察研究」へ

ご協力をお願い

—平成 27 年 11 月 9 日～平成 27 年 11 月 13 日の間に手術室で全身麻酔を受けられる方へ—

研究機関名 国立がん研究センター中央病院 麻酔集中治療科
責任研究者 国立がん研究センター中央病院 麻酔集中治療科 科長 佐藤 哲文
分担研究者 国立がん研究センター中央病院 麻酔集中治療科 医長 松三 絢弥

1. 研究の意義と目的

全身麻酔中は、機械による呼吸の補助（人工呼吸）が必要となります。最近の研究では、全身麻酔中の人工呼吸の設定が手術併発症の発生に影響を与えるのではないかと報告されています。しかし、実際に全身麻酔中にどのような人工呼吸器の設定が、どのくらいの頻度で使用されているかという現状はほとんど知られておらず、全身麻酔中の呼吸管理については更なる研究が必要です。

本研究では全身麻酔を受けられる 16 歳以上の患者さんにおいて、麻酔中の呼吸管理の現状を調査します。

2. 研究の方法

1) 研究対象：

国立がん研究センター中央病院手術室などで全身麻酔による手術を受けられる 16 歳以上の患者さん約 1000 名（国立がん研究センター中央病院では 80 名）を対象とします。

岡山大学病院のほか全国多施設共同での研究です。

2) 研究期間：

研究許可後から平成 28 年 12 月 31 日

3) 研究方法：

本研究は多施設の前向き観察研究です。

平成 27 年 11 月 9 日～11 月 13 日の間に、国立がん研究センター中央病院手術室など対象施設で全身麻酔による手術を受けられる 16 歳以上の患者さんで、麻酔開始から 1 時間後の人工呼吸器の設定を調査します。

観察研究であり、麻酔管理含め治療内容には影響せず、手術はすべて通常どおりに行われます。

4) 調査票等：

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報は削除し匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、身長、体重、手術内容、麻酔方法
- ・ 麻酔開始 1 時間後の人工呼吸管理の詳細（酸素濃度、換気設定）
- ・ 麻酔開始 1 時間後のバイタルサイン（心拍数、血圧、経皮的酸素飽和度、呼気終末二酸化炭素濃度）

5) 情報の保護：

調査情報は岡山大学病院麻酔科蘇生科内で厳重に取り扱います。個人情報はデータベース化し、個人の特定ができないように ID を暗号化して保存します。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピ

ュータに保存いたします。尚、調査情報は本研究終了後2年間保存いたします。

調査結果は個人を特定できない形で関連の学会および論文にて発表する予定です。また、ご本人が希望される場合及びご本人の同意のもとご家族にも結果を開示致します。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。ご自身やご家族の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、2015年12月31日までに下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんの皆様に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

国立がん研究センター中央病院 麻酔集中治療科

職名：科長 氏名：佐藤 哲文

職名：医長 氏名：松三 絢弥

住所：〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

電話番号：03-3542-2511（内線 5822）

FAX 番号：03-3542-2116